

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスKID ACADEMY大久保校		公表日		2026年 2月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	机や教具を工夫して収納し、後半半分は運動が出来るスペースを確保しています。学習は支援室だけでなく、個室や事務所の一部を学習スペースとして提供しています。運動遊びは近隣の公園や体育館を利用し、のびのびと活動できる時間を設けています。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	朝のミーティングで話し合い、今日の児童の加配や配置を決めています。ソフトをダブルチェックし、配置に問題がないか確認しています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	玄関、トイレもバリアフリーになっており、支援室はトイレもワンフロアにあり視覚的にわかりやすくなっています。個室もあるので、特性に応じて支援ができるようになっています。ホワイトボードへ1日の流れや事務所の約束や正しい手洗いがわかるように視覚支援の掲示も行っています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	必要のないものは床や机の上に置かず、集中しやすい環境を提供できています。毎日支援後に清掃、消毒を実施しています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	クールダウンなどの場合は個室や事務所の空間に移動できるようにしています。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎朝の朝礼や月1回の校MTGで現在の取り組みや反省、改善方法などを話し合っており、非常勤の職員にも周知しています。朝のミーティングで前日の振り返りをし、支援の内容の改善について話し合っています。当日は児童の担当を決めて、その日のカリキュラムのそれぞれの目標設定についても話し合っています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者の意向を職員全員で把握し、業務の改善に努めている。定期的に保護者にアンケートをとり、指導員で把握する機会を設けています。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼や月1の校MTGなどに限らず、普段の事務時間等で意見を言い合える環境が整えられています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	現在は実施できていないため、今後検討していきたい。	今後検討させていただきます。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修や、カリキュラムMTG、自治体の子ども部会等の参加で研修に受講する機会を設けています。			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	テーマに沿って職員間で話し合いの上作成し、1ヶ月のスケジュール表を保護者様にお渡しています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	アセスメントやモニタリングの時間を確保し、指導員それぞれの意見が反映されるようにしています。定期的な面談を行い、保護者様との話し合いのもと、こどもの様子もふまえて、作成しています。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員全員の意見、保護者様の要望、本人の要望をもとにこどもの最善の利益を考慮して作成しています。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援書をパート含め全職員に共有し、計画に沿って支援を行うようにしています。計画書を各自読むよう声掛けをしたり、非常勤職員を含めて全員が目を通す仕組みを作っています。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	標準化されたツールは用いられていませんが、日々の行動観察などを含む定期的なアセスメントから個々の適応行動の状況を確認しています。	標準化されたツールを用いたアセスメントの導入を今後検討させていただきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	全ての項目において、それぞれの児童や家族に必要な支援目標や具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎月、本部からのテーマに沿ってプログラムミーティングを行い、何をするかを話し合う時間を設けられており、話し合いの中で決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	月ごとのテーマに沿って、指導員全員が意見を出し、昨年度とも内容がなるべくかぶらないように工夫をしています。昨年好評だったものは引き続き行う場合もあります。また、週の中で複数利用がある児童に対して、同じ週に同じ内容のカリキュラムを提供しないように配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	専門的支援などで個別対応する時間を設けたり、グループタイムなどで集団活動する時間を設けたりしています。また、利用者のその日の状態に応じて、個別と集団を組み合わせでの活動を支援に組み入れるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝のミーティングでその日の内容や役割分担を決めて連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援後に振り返りの共有もしていますが、送迎できない場合は、次の日の朝のミーティングで、ヒヤリハットや事故がなかったか、児童への支援はどうだったかなどの話し合いをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	提供記録を保護者様に共有しています。また、朝のミーティングで職員間でも共有し、支援の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い、適切や判断ができるよう、それぞれの職員の意見を取り入れて見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	地域交流の機会が少し少ないですが、長期休みなどの外出で関わりは少しずつ増えています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	行動を自分で選択できるような声かけと、その行動をするとどんなことが予想できるかを伝えることを全員が意識できており、自己決定する機会を確保しています。自分の意思を伝えることが難しい児童には、選択肢の中から選んでもらっています。	引き続き、選択肢を提示し、その結果どういことが予想されるのかの声かけを意識して自己決定する力を育てる支援を心がけてまいります。	
関係機関や保護	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	今年サービス担当者会議はありませんでしたが、相談支援員の見学や電話等で児童発達管理責任者が対応して情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	医療機関の受診の際は、アセスメントを提出し連携を行っています。また、学校では送迎時に児童の情報交換なども行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様の同意のもと、学校との情報交換、連絡調整を行っています。学校行事や時間割変更などは保護者を通してのやり取りが多いですが、学校の駐車場などで起きたトラブル等は学校と直接やり取りして対応をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	会社内の児童発達支援事業所とは密に連携が取れています。他の児童発達支援事業所と情報交換を行い、理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	まだ、学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行した児童はいませんでした。	今後の対象児童に対して対応できるように体制を整えてまいります。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	子ども部会での研修や障害福祉協会の集まりに参加し、研修や助言を受けています。	引き続き各機関との連携を管理者だけでなく、指導員にも周知し、お子様の困り感を校だけでなく広く相談できるよう支援いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	4	放課後児童クラブや児童館の交流はありませんが、定期的に地域の公園で活動をし、地域の他の子どもと関わり機会を設けています。	事業所の行事への地域住民の招待などの活動や交流を検討させていただきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	自立支援協議会に参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時の引継ぎや、日々の活動記録の公開、専門的支援実施記録、個別支援計画、専門的支援の支援書を通して状況や課題の共通理解を持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	会社で家族支援プログラムの研修を行っており、茶話会を開催して、カリキュラム内容や家庭でできる支援の勉強会を提供しています。	様々な保護者様にご参加いただきたいで、回数を増やすことも検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に丁寧に運営規定や支援プログラム、利用者負担などをお伝えしています。また、公式LINEでも確認や質問が出来るようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	一番に子どもの気持ちに寄り添い、保護者様も子どもも安心してご利用いただけるようにそれぞれの要望を定期的に確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	子どもの様子に対して、どのような支援が必要か確認しながら今後の支援について説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	家族からの相談は、送迎時やお電話、公式LINEから応じ、場合によっては面談を行い必要な助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会を年2回開催し、保護者同士で交流する機会を設けています。	今後は兄弟も参加ができるイベントを開催を検討させていただきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情への体制は玄関に掲示しており、保護者も閲覧できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	マンスリーを配布して、活動内容や安全対策委員会のお知らせなどの情報を共有しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報等は全て施錠できる書庫に保管するなど、個人情報の取り扱いについては職員全員が配慮できるよう努めている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	視覚支援をなるべく取り入れたり、口頭だけでなく、文面での連絡も合わせたりなど、職員全員が個々の特性に合わせて、意思疎通できるよう配慮し、保護者様との意思疎通に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	現在はまだ実施できていませんが、今後は検討をしていきたい。	ハロウィンやクリスマスなどの季節の行事やイベントで地域の老人施設などの地域との関わりを今後検討させていただきます。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	職員は各研修時やマニュアル更新時に確認し、家族等へは玄関にファイルを置き、いつでも閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	変更があるたびに更新し、変更があれば随時見直しを行っています。また定期的に避難訓練も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に確認をしています。また服薬等はその都度服薬依頼書を提出いただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	保護者様から情報共有いただき、対応しています。おやつやクッキングでの材料を毎回確認してもらっています。	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	毎年4月に安全計画を作成し、訓練の中で改善すべき点があれば、職員の中で検討して、より良い安全管理ができるよう努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	緊急時の引渡しなどの連絡先を共有し、災害や発熱時などに迅速に対応できる体制が整えられています。	引き続きマンスリーレポートや口頭で訓練等の取組みの内容について、ご家族等への周知に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎回事故、ヒヤリハットの会議を行い、その都度書類に残し、振り返りを職員間で行い、再発防止に繋げています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎年、研修および委員会を実施し、チェックリストに基づく確認を行った後、職員同士で支援内容を振り返り、より適切な対応に努めております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	契約時にどのような場面でやむを得ず身体拘束を行うかについて、説明をさせていただいています。	